



U コマンド

この章では、U で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

use-vrf

RADIUS または TACACS+ サーバ グループの Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) インスタンスを指定するには、**use-vrf** コマンドを使用します。VRF インスタンスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
use-vrf {vrf-name | default | management}
```

```
no use-vrf {vrf-name | default | management}
```

構文の説明

| | |
|-------------------|--|
| <i>vrf-name</i> | VRF インスタンス名です。名前は最大 32 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。 |
| default | デフォルト VRF を指定します。 |
| management | 管理 VRF を指定します。 |

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モード
TACACS+ サーバ グループ コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|-----------------|
| 4.0(0)NI(1a) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

サーバ グループに設定できるのは、1 つの VRF インスタンスだけです。

RADIUS サーバ グループ コンフィギュレーション モードを開始するには、**aaa group server radius** コマンドを使用します。あるいは、TACACS+ サーバ グループ コンフィギュレーション モードを開始するには、**aaa group server tacacs+** コマンドを使用します。

サーバを検索できなかった場合、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用してサーバを設定します。

TACACS+ を設定する前に、**feature tacacs+** コマンドを使用する必要があります。

例

次に、RADIUS サーバ グループの VRF インスタンスを指定する例を示します。

```
switch(config)# aaa group server radius RadServer
switch(config-radius)# use-vrf management
```

次に、TACACS+ サーバ グループの VRF インスタンスを指定する例を示します。

```
switch(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
switch(config-tacacs+)# use-vrf management
```

次に、TACACS+ サーバ グループから VRF インスタンスを削除する例を示します。

```
switch(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
switch(config-tacacs+)# no use-vrf management
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|----------------------------------|----------------------|
| aaa group server | AAA サーバグループを設定します。 |
| feature tacacs+ | TACACS+ をイネーブルにします。 |
| radius-server host | RADIUS サーバを設定します。 |
| show radius-server groups | RADIUS サーバ情報を表示します。 |
| show tacacs-server groups | TACACS+ サーバ情報を表示します。 |
| tacacs-server host | TACACS+ サーバを設定します。 |
| vrf | VRF インスタンスを設定します。 |

username

ユーザ アカウントを作成および設定するには、**username** コマンドを使用します。ユーザ アカウントを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
username user-id [expire date] [password {0 | 5} password] [role role-name] [priv-lvl
level]
```

```
username user-id sshkey {key | filename filename}
```

```
no username user-id
```

構文の説明

| | |
|-----------------------|--|
| <i>user-id</i> | ユーザ アカウントのユーザ ID。 <i>user-id</i> 引数は、最大 28 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。 (注) Cisco NX-OS ソフトウェアでは、 <i>user-id</i> 引数の文字列に、「#」文字と「@」文字は使用できません。 |
| expire date | (任意) ユーザ アカウントが満了する日付を指定します。 <i>date</i> 引数の形式は、YYYY-MM-DD です。 |
| password | (任意) アカウントのパスワードを指定します。デフォルトでは、パスワードは設定されていません。 |
| 0 | パスワードがクリア テキストであることを指定します。これは、デフォルトのモードです。 |
| 5 | パスワードが暗号化されることを指定します。 |
| <i>password</i> | ユーザのパスワード (クリア テキスト)。パスワードは、最大 64 文字まで指定できます。 (注) クリア テキスト パスワードには、パスワードのいずれの部分にも、ドル記号 (\$) またはスペースを含めることはできません。また、パスワードの先頭には、引用符 (" または ')、垂直バー ()、または右山カッコ (>) の特殊文字を含めることはできません。 |
| role role-name | (任意) ユーザに割り当てられるロールを指定します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • default-role - ユーザ ロール • network-admin - システムで設定されたロール • network-operator - システムで設定されたロール • priv-0 - 権限ロール • priv-1 - 権限ロール • priv-2 - 権限ロール • priv-3 - 権限ロール • priv-4 - 権限ロール • priv-5 - 権限ロール • priv-6 - 権限ロール • priv-7 - 権限ロール • priv-8 - 権限ロール • priv-9 - 権限ロール |

| | |
|--------------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> • priv-10 - 権限ロール • priv-11 - 権限ロール • priv-12 - 権限ロール • priv-13 - 権限ロール • priv-14 - 権限ロール • priv-15 - 権限ロール • vdc-admin - システムで設定されたロール • vdc-operator - システムで設定されたロール |
| priv-lvl level | (任意) 特権レベルをユーザを割り当てるように指定します。有効値は、0 ~ 15 です。 |
| sshkey | (任意) ユーザ アカウントの SSH キーを指定します。 |
| key | SSH キーの文字列。 |
| filename filename | SSH キーの文字列を含むファイル名を指定します。 |

コマンド デフォルト

有効期限、パスワード、SSH キーはありません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|--------------------------------|
| 4.0(0)N1(1a) | このコマンドが追加されました。 |
| 5.0(2)N1(1) | priv-lvl キーワードが追加されました。 |

使用上のガイドライン

スイッチは強力なパスワードだけを受け入れます。強力なパスワードは、次の特性を備えています。

- 長さが 8 文字以上である
- 複数の連続する文字（「abcd」など）を含んでいない
- 複数の同じ文字の繰り返し（「aaabbb」など）を含んでいない
- 辞書に載っている単語を含んでいない
- 固有名詞を含んでいない
- 大文字および小文字の両方が含まれている
- 数字が含まれている

**注意**

ユーザ アカウントのパスワードを指定しない場合、そのユーザはアカウントにログインできない可能性があります。

priv-lvl キーワードを表示するには、**feature privilege** コマンドを使用して TACACS+ サーバの累積権限ロールをイネーブルにする必要があります。

例

次に、パスワードを使用してユーザ アカウントを作成する例を示します。

```
switch(config)# username user1 password Ci5co321
switch(config)#
```

次に、ユーザ アカウントの SSH キーを設定する例を示します。

```
switch(config)# username user1 sshkey file bootflash:key_file
switch(config)#
```

次に、ユーザ アカウントの特権レベルを設定する例を示します。

```
switch(config)# username user1 priv-lvl 15
switch(config)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|--------------------------|--|
| feature privilege | TACACS+ サーバでのコマンド認可に対するロールの累積権限をイネーブ ルにします。 |
| show privilege | ユーザの累積権限サポートの現在の特権レベル、ユーザ名、およびステー タスを表示します。 |
| show user-account | ユーザ アカウントの設定を表示します。 |